

令和7年度 第4回市政モニターアンケート

「ごみの排出」の集計結果からの考察

回答率 43/50 人 86%

問 1~4 プラスチックの分別

プラスチックの分別が簡単または普通と回答している人は8割以上

プラスチックの分別は、手間なく行えており、それに比例して燃えるごみの量は、減ったと答えた人は8割近くを超える。

プラスチックの分別についてメリットと感じたことは、燃えるごみが減っていることやごみの意識が変わったこと、環境への配慮していることが実感できるなどが挙げられている。

また、デメリットについては、食品を包装しているプラスチックを洗浄しなければならない手間があることや分別に迷うなどが挙げられている。分別は行うけども、プラスチックを分別することで焼却炉の燃焼材が足りず、燃料費の高騰につながっているのでは？との懸念をしている回答も見受けられた。

問 5~6

20リットル未満の小さいゴミ袋を希望する割合は半数近く。以前より量が減った燃えるごみや不燃物、かんの日に使いたいと回答している人が多い。

令和6年度に実施したLINEアンケートでは、小さい袋を希望する人は、4割程度だったが、今回のアンケートは5割と少しの変化があった。スプレーかんの日が始まって1年ほどが経ち、スプレーかんを入れるのにちょうどいいサイズが欲しいという変化があったのだと考えられる。

問 7 資源の回収

古紙回収は認知度が高い（41件）一方、廃食用油（13件）や充電電池（13件）は認知度が低い傾向。これは拠点の設置場所、情報発信の方法、市民の利用頻度に差があることがわかる。

選択項目			
1	古紙回収ステーション	41	23.8%
2	衣類・革類回収ボックス	39	22.7%
3	廃食用油(植物油)拠点回収	13	7.6%
4	使い捨てライター回収ボックス	27	15.7%
5	携帯電話・スマートフォン回収ボックス	15	8.7%
6	使用済みインクカートリッジ回収ボックス	23	13.4%
7	充電電池回収拠点	13	7.6%
8	その他	1	0.6%

問 8 資源の拠点回収をより多くの人に知ってもらうための方法

単一ではなくさまざまな SNS での周知が広報紙や新聞などと同等の件数があった。また、「ついで」利用の利便性に関心を持っている人が多い。

SNS (Instagram、X) : 5 件

広報誌・新聞 : 5 件

ゴミ収集カレンダー : 3 件

その他 (LINE、放送、ゴミ袋、ゴミ収集車) : 5 件

スーパー・ホームセンター・コンビニへの設置 : 4 件

ゴミ集積所周辺への設置 : 3 件

人が集まる場所への設置 : 2 件

ガソリンスタンド、駅、駐車場 : 各 1 件

問 9~11 ごみの日通知

ごみの日通知を知らなかった人(19 人)が使っている人(17 人)を上回っていることがわかった。使っている人のほとんど(15 人)は便利だと回答している

使っている人は、通知により「明日は何のごみだ」ということがわかるため便利だとの回答がほとんどである。

一方知らなかったという人も多かったため、今後も周知が必要。

問 13 「ごみ」に関する機能を増やしたいと考えています。あなたが「こんなものがあったら便利だな」と思うもの

即回答の出るチャットボットや ai 分別判定が回答率が高かった。また、分別方法のガイド(ごみの分け方出し方)などの冊子も回答率が高かった。

機能	件数
チャットボット・AI分別判定	約8件
分別方法の詳細ガイド	約7件
資源回収拠点のマップ表示	約4件
粗大ゴミ情報の充実	約3件
ごみ収集日程の詳細化・通知改善	約4件
教育的コンテンツ	約4件
実績の見える化	約1件
ゴミ出しサポート	約1件
ポイント制度	約2件
不法投棄通報機能	約1件